

めぐみイエス・キリスト教会

2017年12月3日(日)第一主日礼拝
週報「通算第384号」



2017年標題聖句

ピリピへの手紙2章13節～16節

神は、み心のままに、あなた方のうちに働いて、
志を立てさせ、ことを行なわせてくださるのです。

すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。

それは、あなた方が、非難されるところのない純真な者となり、
また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子供となり、
命の言葉をしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2017年12月3日(第一主日礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 ますみ さん 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏・祈祷】

【賛美Ⅰ】新聖歌508「神共にいまして」 p. 810

【交読文】No.36 詩篇116篇 p. 908

【賛美Ⅱ】新聖歌209「いつくしみ深き」 p. 316

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週のメッセージの概要】

【賛美Ⅲ】オリジナルNo.2「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】ヨハネの福音書13章1節～4節(新約p. 188)

【祈 禱】

【メッセージ】《その愛を余すことなく》鈴木竜実 牧師

【聖 餐 式】

【平和の祈り】

【賛美Ⅳ】新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【頌 栄】新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱・後奏】

●ポイント1 共観福音書における最後の晩餐とは？

※マルコの福音書14章12節～17節【ニサンの15日の夜】(新約p.88下段)

※レビ記23章5節

【主の例祭について】(旧約p.195上段)

23:5 第一月の十四日には、夕暮れに過越のいけにえを主にささげる。

●ポイント2 メシヤが友に裏切られる預言とは？

※詩篇41篇9節 【ダビデによる賛歌】 (旧約p.868上段)

41:9 私が信頼し、私のパンを食べた親しい友までが、私にそむいて、かかとを上げた。

※詩篇55篇12節～14節 【ダビデのマスクール】 (旧約p.879上段)

55:12 まことに、私をそしめる者が敵ではありません。それなら私は忍べたでしょう。私に向かって高ぶる者が私を憎む者ではありません。それなら私は、彼から身を隠したでしょう。

55:13 そうではなくて、おまえが。私の同輩、私の友、私の親友のおまえが。

55:14 私たちは、一緒に仲良く語り合い、神の家に群れと一緒に歩いて行ったのに。

※ヨハネの福音書15章13節～15節【イエス様の最後の教え】(新約p.194)

15:13 「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。

15:14 私があなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたは私の友です。

15:15 私はもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。私はあなたがたを友と呼びました。」

※マタイの福音書26章47節～50節【ゲッセマネの園で】(新約p.52上段)

●ポイント3 「上着を脱ぎ手ぬぐいを取って腰に巻き」とは？

※ピリピ人への手紙2章6節～8節【使徒パウロの教え】(新約p.352上段)

キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることのできないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。

◎先週のメッセージの概要【大声のキリスト】

《私たちは大声でものを言うことは滅多にありません。大声でものを言うのは、何か緊急の事態が起こったりした場合や、激怒した場合くらいのものであります。

さてイエス様が大声でものを言われたことが、聖書の福音書には、五回ほど書き記されています。今回はその中の一つの場面となります。

この教えは、ユダヤの一般の群衆に対して、最後の機会として、また今まで語られた教えの最後のまとめとして、あえて主は大声で語られたのです。「私を信じる者は、私ではなく、私を遣わした方を信じるのです。また、私を見る者は、私を遣わした方を見るのです。」

ここで、イエス様はご自身が神の御子であることを、はっきりと宣言されています。

使徒ヨハネは、イエス様が十字架にかけられてから約60年から70年後に、第四福音書を執筆しました。そのヨハネによりますと、「言葉は人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。」と証しています。

つまりユダヤ人が信じているヤーヴェなる神様は、御子イエス・キリストによって具現化されたということなのです。神様を見た者は誰もいません。モーゼでさえ、その後ろ姿しか見るのが許されませんでした。父なる神様は、御子イエス様を通してご自身を現わされたのです。それだからこそ、私たちは聖書を通して神様がどんなお方であるのか、知ることが出来るのです。神様イコールイエス様です。イエス様は大声で言われました。ご自身こそが、神様であることを。そしてご自身の言葉こそが、神様の言葉であることを。このお方以外に、人間には救いがありません。このお方こそが真の神様なのです。》

◎お知らせ

1. 次回、12月10日(日)の礼拝は通常通り、午前10時から行ないます。また次回祈祷会は、12月13日(水)に行ないます。12月6日(水)は都合によりお休みとなります。なお年内は12月20日(水)が最後の祈祷会となります。
2. 鈴木師は、12月5日(火)下妻朝祈祷会奏楽と特別賛美の伴奏を担当します。
3. 12月31日(日)に、今年最後の礼拝を午前10時から行ないます。